

こうとう民報

2017年 2月号 147

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

江東区母親大会開催

生命生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることを怠りません



2月11日、江東区文化センターで江東母親大会が開かれ、約150人が参加。午前の全体会では、報道写真家の嬉野京子（うれしの・きょうこ）さんが、「沖縄の母親から学んだ生きる力 戦場がみえる島、沖縄50年の取材から」と題して講演しました。

嬉野さんは1965年、アメリカの全面占領下の沖縄に渡り、カメラ持参では命がいくつあっても足りないと言われた中で、祖国復帰運動に寄り添い、危険を冒しながら、占領の実態を発信し続けました。

講演では、当時の貴重な写真を約30枚、会場のスクリーンに投影して、当時の生々しい状況が語られ、参加者を引きつけました。

特に、1965年4月20日に宜野座村で、米軍車両が6歳の女の子を轢殺した直後の、米軍人の占領意識丸出しの有名な写真を、祖国復帰運動の担い手の沖縄の人々によって守られながら撮影、フィルムを本土に送ることができたという話は、参加者に深い感銘を

与えました。

嬉野さんは、沖縄では1972年の祖国復帰後も、米軍による事件・事故は後を絶たず、昨年5月には、米軍属に

「新春のつどい」を開催 安倍暴走政治ストップ

新年を迎え各団体が相次ぎ「新春のつどい」を開催。安倍政権の平和とくらし、雇用破壊の政治を変えようという決意を固めました。それぞれの「つどい」には、あぜ上三和子都議が参加し激励しました。

生活と健康を守る会

戦争法阻止に全力で！

1月22日に開催の新春のつどいで佐藤巖会長は、昨年安倍内閣のもとで安保法制「戦争法の強行」という暴走に対して「戦争法」阻止の署名を取り組み1274人の署名を集めて全国の会などと連帯して

取り組んだと報告。

江東区労連

なくせ貧困・雇用拡大で、景気回復を！

江東区労連は、1月23日に「旗びらき」を開催しました。旗びらきには、区労連加盟団体16労組、15団体から100

「オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成を図る」と説明しています。

区民生活は軽視

〈第一回定例会〉 新年度予算審議

潤沢な財政力を暮らし応援に

しかし、保育所定員を新たに千人拡大する計画はあるものの、人口増加の一方で拡大する低所得層や高齢者、アベ

委託の拡大、区民税や国保料の滞納処分として、振り込まれたばかりの年金などを全額差し押さえ、生活を困窮させ

蓄えた基金の活用を

暮らし応援に！

日本共産党区議団は山崎区政の問題点をたどるとともに、総額1千億円にのぼる基金など、潤沢な財政力を暮らし応援に生かすよう力を尽くします。

人を超える参加で、春闘勝利、雇用の拡大、最低賃金引上げなど、たたかう決意を固めました。

2部では、明治乳業争議団、JAL不当解雇撤回原告団、地域労組こうとうの第一興商パワハラ事件の仲間から決意表明がありました。

江東民商

新会員を迎えスタート



江東民商のつどいで挨拶する上原会長

1月26日に開かれた江東民主商工会の新春のつどいは、全支部の参加で開かれました。挨拶で上原議長は「中小業者・国民の運動で安倍自公内閣の消費税10%増税を延期させた。しかし、政府は諦めておらず、まやかしの軽減税率導入とともに『適格請求書』の発行が義務付けられた。中小業者にとつてかつてない打撃となるものだ」と批判しました。

江東民商は、運動方針の実践で年始めから5人の会員拡大と商工新聞12部を増やすなど中小業者の悩みに応える活動でスタートしています。

潮騒

「梅一輪一輪ほどの暖かさ」。かつての風情が信じられない昨今の異常な寒暖差です。日米首脳会談では「入国禁止令」の差し止めや各国首脳批判で就任早々孤立したトランプ大統領が、「日米同盟第一」の安倍首相を異例の厚遇で迎えました。共同声明の冒頭「核および通常戦力の双方によるあらゆる種類の米国の軍事力を使った日本の防衛に対する米国のコミットメント（約束）は揺るぎない」と、来月には核兵器禁止条約締結の交渉を開始する国連決議に逆行し、米国の核の傘による庇護を再確認します。歴代自民党政治が冷戦時代の軍事同盟にしがみついたツケは、安保条約による大規模公共事業や軍事費で1千兆円超の財政赤字、地位協定24条で米国が負担すべき米軍駐留経費の7割を思いやり、米国の戦争の根拠地となる130余の軍事基地、米軍犯罪21万件、死者1092人等々、平和とくらしを脅かしています。安保問題では違いがあっても「戦争法」廃止をめざす野党共闘が市民運動を原動力として進み、「共産党を除く壁」が崩れた歴史的段階に入りました。1月の共産党大会に続き、長野、山梨、岩手など参院選で勝利した以外の埼玉、神奈川、大阪、高知等の党会議でも、3野党代表が連帯の挨拶、今後の国会論戦が期待されます。

朝鮮戦争とレッドパージ

概説

江東の歴史 (65)



首切り反対でたたかう日立 亀戸の労働者

1950(昭和25)年6月25日、朝鮮戦争がはじまりました。その年の1月から、米統合参謀本部長ら軍首脳が度々来日し、マッカーサー司令官と極東の軍事体制強化について協議していました。

開戦とともに米軍は大量の武器、軍需物資を「特需」の名で発注し、55年6月までの5年間で総額16億ドル(1ドル360円)に達しました。日本経済に大量のドル札と金貨がばらまかれたのです。

江東区では石川島造船所などの工場が米軍の軍需工場となり、会社は儲かったが、労働時間は3割も増え、実質賃金は3%しか上がらず、労働災害は半年間で50%も増えました。

マッカーサーは、朝鮮に出動した米軍の穴を埋めるため、7月8日、警察予備隊の創設を命令し、本部を越中島商船大におきます。54年には保安隊から自衛隊と名をかえ、防衛庁も越中島におかれていました。

さらに、マッカーサーは戦争遂行の障害になると、官庁、報道機関、企業から共産党員(その同調者)の追放(パージ)を命令。政府発表では、公務員1,177人、民間企業から1万972人が追放されました。これに先んじて、1950年2月13日には東京教育庁による246人の教員の追放がありました。

江東区では、浅間小の堀切路夫ら4人の教師(毛利小・永見安夫、砂中・天野悦郎、寺本純)が追放されました。

“弾圧続くさみだれは江東区を低くして降る”橋本夢道

朝鮮戦争後から日本の再軍備の本部となり、特需という名の軍需産業復活の拠点となった江東区で、同時に弾圧が荒れ狂ったのです。

堀切路夫は、この首切りを東京地裁に提訴し、9年後に教員では全国で唯一人、元の浅間小に復職を勝ちとりました。



南砂団地9条の会の再建総会で激励挨拶する宇都宮健児さん。



2倍化して甦える南砂団地9条の会

2007年結成の団地9条の会の有志は「いま、9条が危ない」と会の再建めざし、当時の倍以上の202人の賛同人を募り、1月21日に45人が参加する総会を開催しました。

総会は「日本の未来を危うくする改憲策動を阻止するために、団地住民の過半数の賛同を」の決意を込めた杉浦敏郎代表世話人の挨拶で開会されました。

激励に駆けつけた宇都宮健児さん(戦争法ぶつ潰せ江東行動代表よびかけ人)は、会の再建を祝うとともに、違憲の安本法で、自衛隊に駆け付け警護や共同宿営地防衛の任務を与え、危険な南スーダンに派遣した安倍政権

は、9条を変えることを狙い、国民に容認されやすい条項から改憲の発議を準備している。9条を守ることは平和と人権を守ること。正当な選挙や裁判での主権者のたたかいの重要性を強調しました。

参加者からは「公明党の加憲の問題点」「緊急事態条項」「米軍基地と国防」「共謀罪法案」に

ついて質問がなされ、詳細な説明がなされました。その後の軽食や飲み物が用意された第2部では、全員の自己紹介や涙なが



江東区民春闘共闘委員会結成・学習会 区労連 国民春闘を地域から成功させよう!

2月14日、亀戸文化センターで春闘共闘委員会結成集会が、区労連傘下の労働組合代表ら30数人が参加して開催されました。

岩橋祐治全労連副議長が「地域から2017春闘をどう進めるか」をテーマに講演、東京土建江東



支部をはじめ4労組が活躍報告しました。開会挨拶で区労連の名越秀和議長は「国民春闘勝利、南スーダンから自衛隊撤収、平和を守り、最賃の大幅引き上げ、大企業の内部留保をはきださせ大幅賃上げ、未組織労働者の組織化」を呼びかけました。

江東革新懇のよびかけ

「安倍暴走政治にかわる野党連合政権の実現」の講師は「立憲デモクラシーの会」の山口二郎さん(法政大学教授)です。

この学習会(3月17日)に皆さんの参加をよびかけます。

去最高の一方、労働者の実質賃金はこの3年で17.5万円減少し、社会的困窮も最悪」と指摘したうえで、日本の社会問題の解決と経済の持続的安定的な発展の保障には、貧困問題の根底にある労働者の賃金・労働条件の改善と雇用の安定が必要であり、全国一律最賃制の確立がその解決につながると強調しました。



寄稿

戦争の犠牲者たちを忘るな

戦争法の廃止を求め、国会を前に立ち上がった市民の命が奪われた有様だが、下町全域の死亡場所、写真、遺品の絵画などで再現されています。油がゼリー状に詰り込まれていた油脂焼夷弾の実物もありました。

万人超の市民の命が奪われた有様だが、下町全域の死亡場所、写真、遺品の絵画などで再現されています。油がゼリー状に詰り込まれていた油脂焼夷弾の実物もありました。

戦争法の廃止を求める砂町の会は2月12日、東京大空襲・戦災資料センター見学会を行いました。ビデオ「東京大空襲つてなに?」を鑑賞、センターの山辺昌彦氏、砂町の会代表世話人の佐藤正広氏が説明しました。

米軍が国際法に違反し、無差別にB29で焼夷弾を東京下町に集中投下、10



行事日程

3月5日(日) 13時30分 東京大空襲を語り継ぐつどい (江戸東京博物館1Fホール)

3月10日(金) 18時30分 戦争と憲法体験を聞くつどい 戦争法廃止を求める砂町の会 (南砂区民館)

3月11日(土) 11時30分 東高校卒業式前宣言 戦争法廃止を求める砂町の会

3月14日(火) 10時 重税反対区民集会 (総合区民センター・レクホール)

3月17日(金) 18時30分 江東革新懇総会・学習会 講師:立憲デモクラシーの会・山口二郎 (総合区民センター・第5研修室)